

9月23日交流会イベントのご報告

2020年はみんな(地域)で安心して楽しむ子育てを！

参加団体は9団体(本応援団含む)、ご来場の皆様本当にありがとうございました。さまざまな子育てを支援する方々の存在に、地域の豊かさを実感した一時でした。交流会は以前から新井が一方通行になりがちな講演会ではなく参加者と主催側が楽しめる場をと切望していた。実現に素直に喜び感謝！改めてご紹介します。

●川名宣子様・小林順子様「母親くらぶ」子育て支援活動をする9つのクラブが所属し子育て中の親が自分達の希望の企画を立てて運営という自主性の高い団体様。●後藤淳平様「粟田・ハイランド学童クラブ」学童保育として活動され、放課後ひとり親のお子様等を預かりまたその親御さんを支える団体様。●田淵勝廣様・高島智子様「たすき塾」2012年に小矢部で開設された無料の塾。小学校6年生～中学2年生の学習支援。青少年育成推進委員と連携され現在23名の生徒さんが所属されてる団体様。●富沢恵子様・羽田野恵様「放課後デイサービスあっぷっぷ」障害を持つ小中学生が対象の放課後の居場所。子どもの個性を尊重し、学校・家庭との連携、地域交流を目指す団体様。●三浦生志様「衣笠中学校区青少年育成活動地域連絡会」青少年がよりよく育つ環境をつくるため、町内会・自治会の青少年健全育成団体。学校などと連携する活動団体様。●鈴木敬道様「横須賀市ラグビースクール」幼稚園児から中学生(計約260名)が毎週日曜日に(第三日曜を除く)活動。全員参加が方針、不登校児の居場所にもなってる団体様。●寺田由美様「よこすかひとり親サポーターズ・ひまわり」ひとり親自らが、横須賀のひとり親家庭を親子共々明るく元気にする市民団体様。●武藤孝子様「NPO法人キッズルームさくらんぼ」日曜以外24時間保育が特徴。美容院・歯医者等連携の団体様。以上8団体様本当にありがとうございました。また、高比良秀一さん素敵なピアノ演奏、安川さん行政への働きかけの言葉、感謝致します！



川辺悟史さん撮影

寄稿

「母から見た高比良秀一さん」 高比良和枝さん(会員)

こども若者応援団の講演やイベントでのピアノ演奏をさせていただくのも3回目になりました。コミュニケーションの苦手な自閉症の彼にとって、自分の得意な事で、社会参加が出来るということは本当に有難いことだと、いつも感謝しています。10歳から始めたピアノも17年目になりました。レッスンを始めたころからピアノの音や規則正しく並んだ鍵盤が大好きでとても大切にしていました。練習も毎日欠かしませんでした。年数を重ねるごとに難しい曲も弾きこなせるようになっていきましたが、彼自身楽しんでるように感じられなくて悩んだこともありました。3年位前からジャズピアノの道に進みました。そこからの変化は大きかったように思います。ここ1年は音楽が彼の中に入って心から喜びとして気持ちを開放しているのを感じ取ることができています。その時の様子を言葉にしてアメージンググレイスの詩ができ、今回演奏させていただきました。これからもくもりのない心で音楽を楽しんで彼らしい表現をして欲しいと願っています。

コラム風

救急車に乗った。近所の病院で貧血、倒れた。13日(土)横浜のフリフリマへ出かけた後、のどが痛くなりかぜが、翌日救急病院へ行ったが、改善せず。救急車内で救命士の穏やかで迅速な処置。意識がモウロウとする中、感謝する自分に気づいた。今夏も隣家の火事(ほぼ全焼)に適切な消火で我が家は延焼を逃れ、消防士に感謝を申し上げていた。

天災や人災がひんぱつする社会だが、安全・安心の社会環境を実感している。僕たちは社会参加を願っているが、日々の安全と安心に従事する人々の貢献の中で社会参加が実現していることを理解しあいたい。穏やかでかつ迅速な風が吹く社会へ、共に。(滝田衛)





8月ネットの友人と飲みに行ってきました！ちょうど半年前位にどっかのネット配信で知って、僕が「モテたい、モテたいって(笑)」言うから、ずいぶん相談に乗ってくれました。フラれた時も、悩んだ時もスカイプで度々話しました。僕の事、ほとんど言ってます。というか言っていないことがない(笑)絶対に信頼してます！憧れの彼でした。いつも「いつか会いたいね～」とよく言っていました！で、会えたんです！！会っても全く印象は変わらず。もう3時間マシガントークでした(笑)こんな楽しいことは20年で初めてかな。逗子に来てから20年友人がいなかったのでもうそれから今まで具合が悪いんです。よく思ったのが、良くなって悪くなって繰り返して確実に悪くなってます。だから、今、応援団とかネットで人と関わることがあっても、調子が良くなって、いずれもっと状態が悪くなるのかなっていつも不安に思っていました。しかし、その友人に会って(もちろん多くの人と関わって)人との関わりが多くなると確実に具合がよくなります(長期的に)。僕の場合対人関係と具合が比例してます。もやもやの出口、光が見えた気がします。確実に光が見えた気がします。対人関係って苦手だけど、得るものがもの凄く多いです。疲れますけどね(笑)

9月21日子ども若者応援団会議「異年齢交流！23日子育てイベントの打ち合わせ」

山本さんは逗子中 & たすき塾での奮闘。小幡さんはたすき塾でお手伝い、多額の学費を捻出してもらった恩返しに多くの貢献をと。涌井なお彥さんは息子さんと向き合う際に比較に囚われず。涌井勝義さんは息子さんと一緒にツーリングのためバイクの購入。川辺順子さんは母としてこの一ヶ月息子さんと向き合い葛藤。高比良和枝さんは自閉症の東出直樹さんの本を読み息子さんも音楽での表現を。秀一さんはピアノの練習に励み。新舛は本『嫌われる勇気』の紹介。23日のイベントの打ち合わせがメインでいつもながら代表小幡さんの素晴らしい司会で定例会は盛り上がり、その後、交流も。このような異年齢の交流は素晴らしいと新舛は感じた。



それぞれの風

○自己肯定できない自分に悩み、自分が嫌になり絶望する時が繰り返して起こる。先日訪問した青年は「このままゲームをする人生を。親が死んだら自分も死ぬ」と言って親を悩ませた。今は未来を見ている。僕は“とことん悩むがいい”と共感する。「もっと違った人生が」と振り返り悩み絶望する、だからひきこもる。その先にある希望や夢に出会うために絶望することは、人には必要なことと考えることもある。命をつむぎ、人に出会いながらだが。

○「母親には磁力がある。引きつけられて動けない。私は自分で考えて行動できないのだ」と不登校の中学2年生が言う。朝起きられず、目が覚めると夕方、苦しみ葛藤する中学生。月2回ほどのカウンセリングを続け、自分と向き合う時間を続けている。あれから1年、9月の中学の行事に参加、初めての経験だ。「友達に助けられて」と報告する姿は、実に堂々としていた。「まあ、無理しないでやっていきます。今度はテストですかね(笑顔)」と。

○応援団副団長 & 編集長の新舛秀浩さんと、楽しく過ごしていたフリマ(横浜青少年センター)会場でハプニングが起こった。新舛さんの「前日キャンセルする自分に『それじゃだめだ(ニュアンス含め)』と滝田さんは言った」に、僕は「言っていない」と強く言い張った。僕は拘り、周囲が緊張するほどの口論となった。研究所と応援団の大原則にかかわる、どこまでルールや社会常識から自由でいられ自分を肯定できるのか自問自答。 By 滝田衛

<p>【ご参加ください】 応援団会議は横須賀市市民活動サポートセンター午後2時～4時。会員の自由な集まりです。</p>	10月研究所開設日程(駐車場あり) 相談時間:10時～16時 土日訪問はご相談で			
	2日(木)	相談 予約済み	20日(月)	相談
	6日(月)	相談 予約済み	23日(木)	相談
	9日(木)	相談	26日(日)	応援団会議 午後2時
	13日(月)	祝日により休業	27日(月)	相談
	16日(木)	相談	30日(木)	相談